

(別添)

News Release

2020年 2月 27日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所

5年で157件、電子レンジで発生する事故 ～取扱説明書をよく読んで正しく使いましょう～

1. 事故の発生状況

2014年度から2018年度までの5年間にNITEに通知された製品事故情報^{※1}のうち、北陸3県（富山県、石川県及び福井県）で生活家電製品（電子レンジ、冷蔵庫、洗濯機、掃除機及び炊飯器）による事故が9件^{※2}、その中で電子レンジの事故は1件ありました。

1-1 生活家電による事故

(1) 県別の年度別事故発生件数（表1）

表1 生活家電製品による事故の県別の年度別事故発生件数（2014～2018年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2014年度		0	1	1	2
2015年度		0	0	0	0
2016年度		3	0	0	3
2017年度		1	0	0	1
2018年度		1	2	0	3
合計	事故件数	5	3	1	9
	火災件数	[3]	[3]	[1]	[7]

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含む。

※2:重複、対象外情報を除いた事故発生件数

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表2）

表2 生活家電製品による事故の県別の被害状況別事故発生件数（2014～2018年度）^{※3}

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	4	2	1	7
	製品破損	1	1	0	2
被害なし		0	0	0	0
合計		5	3	1	9

※3: 表 2.4 において人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

1-2 電子レンジによる事故

(1) 県別の年度別事故発生件数（表 3）

表 3 電子レンジによる事故の県別の年度別事故発生件数（2014～2018 年度）

発生年度		富山県	石川県	福井県	合計
2014 年度		0	1	0	1
2015 年度		0	0	0	0
2016 年度		0	0	0	0
2017 年度		0	0	0	0
2018 年度		0	0	0	0
合 計	事故件数	0	1	0	1
	火災件数	[0]	[1]	[0]	[1]

(2) 県別の被害状況別事故発生件数（表 4）

表 4 電子レンジによる事故の県別の被害状況別事故発生件数（2014～2018 年度）※3

被害状況		富山県	石川県	福井県	合計
人的被害	死亡	0	0	0	0
	重傷	0	0	0	0
	軽傷	0	0	0	0
物的被害	拡大被害	0	1	0	1
	製品破損	0	0	0	0
被害なし		0	0	0	0
合 計		0	1	0	1

2. 生活家電製品による主な事故事例

(1) 電子レンジの製造不良により火災が発生した事故

・ 2015 年 2 月（石川県、女性、60 歳代、拡大被害）

【事故の内容】

電子レンジを使用中、建物を全焼する火災が発生した。

【事故の原因】

ドアの開閉を検知するスイッチの製造不良により、接点部でスパークが発生し、出火に至ったものと考えられる。

(2) 電気洗濯機で被害者が行った修理の不具合により発煙した事故

・ 2018年6月（石川県、男性、60歳代、製品破損）

【事故の内容】

使用中の電気洗濯機付近から異臭がし発煙した。

【事故の原因】

被害者が事故品の修理を行ったため、内部配線の接続の不具合により接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「異常時は直ちにプラグを抜いて使用を中止し、メーカーへ修理を依頼する。修理技術者以外の方は分解、修理は行わない。火災や感電の原因となる。」旨、記載されていた。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」＋「NITEのロゴ」としてください。

（本件に関する問い合わせ先）

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-4-1

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北陸支所 技術課

担当者 樋口、矢代

電話：076-231-0435

以上